

島嶼産業研究会

会 報

第 12 号 2019 年 7 月 16 日 (火)

【発行】島嶼産業研究会 事務局
〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
鹿児島大学水産学部内
k9650024@fish.kagoshima-u.ac.jp
TEL 099-286-4291
FAX 099-286-4297
<http://international-islands.jimdo.com/>

ごあいさつ

東京での勉強会、たくさんの方々のご出席、ありがとうございました。予定していた時間を超え、約 4 時間半、濃密な報告と議論の機会になりました。また、新たに研究会へ加わってくださった方もおります。メーリングリストで順次ご案内いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

島嶼産業研究会 事務局

1. 第 9 回・勉強会の報告

2019 年 7 月 13 日 (土) 14 時より、東京工業大学イノベーションセンター5 階において、第 9 回・勉強会を開催いたしました。

第 1 報告は、斉藤俊幸氏 (イング総合計画株式会社) より「奈留島・久賀島プロジェクト報告」について報告がありました。斉藤様は各地で六次産業化を目指した取り組みを企画・支援しておられ、それらの内容につきまして、詳細な紹介がありました。またミレニアル世代の活躍の様子についても紹介がありました。島の特長を活かしたウイスキーづくりにも大変、興味を持ちました。



第2報告は、青山富寿生氏（一般社団法人離島百貨店）より「離島百貨店について」報告がありました。離島の産品を消費者に届ける販路拡大のみならず、人材発掘・育成、観光、空き屋対策、情報発信などを担うとのこと。2019年2月に発足した組織ですが、今後の展開が非常に楽しみです。



第3報告は、清永治慶氏（佐渡観光交流機構）より「佐渡の観光について」報告がありました。マーケティング戦略、地域通貨による経済内製化など稼ぐ仕組みについて具体的な紹介がありました。そのためには、人づくり、地域住民の巻き込みなどが重要である旨、紹介がありました。



第4報告は、中島啓介氏・堤崇高氏（株式会社 Azit）より「互助モビリティプラットフォームサービス CREW」について紹介がありました。島嶼部などでは公共交通網が十分ではなく、地域住民はもちろん、観光客も島内移動に困る場面があります。それをアプリなどを使った新しいシステムの導入により緩和しようというものです。鹿児島県与論島でも導入されたようですので、与論島調査時にはそのようすを確認したいものです。



第5報告は、堀本雅章氏（法政大学）より「限界集落における人口減少と就業構造の変容」について報告がありました。綿密な実態調査をもとに、宮古島市大神島大神集落の変容について紹介がありました。入域観光客数が増加する一方で、移住者の受け入れを良しとしない地域であり、地域社会の維持が困難になる可能性について示されました。



第6報告は、鳥居享司氏（鹿児島大学）より、「特定有人国境離島地域の漁業経営を考える」について報告がありました。鹿児島県十島村宝島・小宝島を事例に、様々な条件不利により漁業が産業として成立しづらかった両島漁業の今後について、紹介がありました。



勉強会後は、田町駅近くにある「駒八本店」でお話しの続きを、美味しい料理とお酒とともに繰り広げました。大変、有意義な1日となりました。参加してくださった皆様、ありがとうございました。
(事務局)

2. 研究会の現況について

島嶼産業研究会では、ホームページ (<http://international-islands.jimdo.com/>) のほか、フェイスブックでも情報発信を行っております (<https://www.facebook.com/groups/560012734193149/>)。皆様方の活動の様子を気軽にアップしていただくと助かります。どうぞよろしく願いいたします。
また、会員は81名となりましたので、お知らせいたします。